
**The 19th International Conference on
Pharmaceutical Medicine (ICPM2018)**

第9回日本製薬医学会年次大会

募 金 趣 意 書

会 長

今村 恭子 (東京大学大学院薬学系研究科・薬学部 ファーマコビジネス・イノベーション 特任教授)

西馬 信一 (日本イーライリリー株式会社 研究開発本部 安全性メディカル・疫学/データベース研究 ディレクター)

御 挨拶

謹啓

時下、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より格別のご高配を賜わり、厚くお礼申し上げます。

この度、2018年9月27日(木)～29日(土)の3日間で「The 19th International Conference on Pharmaceutical Medicine (略称：ICPM2018)・第9回日本製薬医学会年次大会」を東京大学で開催する運びとなりました。

本会議はIFAPP(International Federation of Associations of Pharmaceutical Physicians and Pharmaceutical Medicine)とIFAPPのメンバーである日本製薬医学会の合同開催となります。IFAPPと日本製薬医学会のミッションは医薬品開発に関連する製薬医学専門家の知識、専門性およびスキルの向上を通して製薬医学を推進し、患者と社会のベネフィットのために医薬品へのアクセスと適正使用へと導くことにあります。そのため専門性の高い知識を要する固有の医学専門領域として、またプロフェッショナルとしての責任を持つ独自の分野として、製薬医学の発展と社会的認知促進を目指しています。また製薬医学専門家の知識、専門性およびスキルの向上を目的とした製薬医学の研修と生涯教育プログラムの開発を継続的に行っています。

本会議はIFAPPが2年または3年に1度開催する国際製薬医学大会(International Conference on Pharmaceutical Medicine: ICPM)と日本製薬医学会年次大会の合同開催となります。本会議においては前述の目的に沿い、主要分野に最先端の知識や動向を提供することを目指しています。世界各地の医薬品企業、臨床研究者および規制当局から約300名の代表者が集まり、活発な意見交換が行われる予定です。

今回の本会議テーマは『The Future of Medicines Development』としました。医薬品開発を取り巻く環境が世界的に目まぐるしく変わる今こそ、更なる医薬品へのアクセスと適正使用へと導くため、これからの製薬医学の専門家に求められること、期待されることを議論する機会にしたいと考えております。

本会をより実り多いものにするために、参加者にとって有益で発展的なプログラムになるよう努める所存でございます。

つきましては、本趣旨にご賛同いただき、「The 19th International Conference on Pharmaceutical Medicine (略称：ICPM2018)・第9回日本製薬医学会年次大会」の開催にご支援とご協力を賜りたく、よろしく願い申し上げます。本来であれば直接お願いとご挨拶に伺うべきところではございますが、書面にてのお願いとなりますことお許しください。末筆ではございますが、貴社のますますのご発展を心より祈念申し上げます。

謹白

2017年11月吉日

The 19th International Conference on Pharmaceutical Medicine

会長 今村 恭子 (東京大学大学院薬学系研究科
ファーマコビジネス・イノベーション 特任教授)

第9回日本製薬医学会年次大会

会長 西馬 信一 (日本イーライリリー株式会社
研究開発本部 安全性メディカル・疫学 /
データベース研究 ディレクター)



1. 学会の名称

The 19th International Conference on Pharmaceutical Medicine (略称：ICPM2018)・第9回日本製薬医学会年次大会 (同時開催)

2. 主催機関及び責任者名

今村恭子 (東京大学大学院薬学系研究科ファーマコビジネス・イノベーション 特任教授)
西馬信一 (日本イーライリリー株式会社 研究開発本部 安全性メディカル・疫学 / データベース研究 ディレクター)

3. 会期

2018年9月27日(木)～29日(土) (3日間)

4. 会場

東京大学伊藤国際学術研究センター (〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1)
東京大学医学部教育研究棟 鉄門記念講堂 (同上)

5. 本会議の目的と開催意義

本事業の理念は The Future of Medicines Development (医薬品開発の未来) と題して、今日の医薬品開発にまつわる諸問題 (製品開発の長期化・巨額化、開発の成功確率の減少、医薬品の高額化、医薬品へのアクセスへの困難、難病・希少疾患・顧みられない熱帯病等への対応等) を共有し、今後の国際的な医薬品開発のあり方を通して、あるべき姿を提唱することにある。大会開催の目的は、これらの国際的に共通する課題の解決に資するための問題意識の共有や論点の抽出、解決への方策を議論し、実践を推進するとともに、地域的または各国に特有の法的・経済的・文化的な側面から問題解決の障害となっている各種の要因についての意見交換や事例を通しての学びを共有し、国際的な取り組みを推進することにある。特に、急速に進化する科学技術の革新を応用し、破壊的なイノベーションを実現するには次世代の育成が必要不可欠であり、教育や研修にかかわる各国での取り組みを共有することで、効果的な若手人材の育成プログラムを開発することを目指している。

こうした目的を達成するために、国際製薬医学会を構成する各国支部組織からの委員で構成する国際科学委員会において各種演題の選定や最適な講師・座長の推薦を行い、あらかじめ各セッションにおける学習目標 (Learning outcomes) を特定しておくことで参加者にとって満足度の高いものとなるように効果的な大会運営を計画している。

6. 開催計画の概要

1) 会議の日程表

	午 前	午 後	夜
9 月 27 日 (木)	Opening Ceremony Keynote Lecture Symposium	Workshop	Awarding Ceremony and Cocktail
9 月 28 日 (金)	Panel Discussion Symposium	Workshop	House of Delegate and General Assembly
9 月 29 日 (土)	Symposium	Symposium	Closing Ceremony

※主要プログラム概要

- Keynote Lecture I Dr Otmar Kloiber, Secretary General, World Medical Association
- Keynote Lecture II Dr Yasuhiro Suzuki, Chief Medical & Global Health Officer,
Vice-Minister for Health, Ministry of Health, Labor and Welfare, JAPAN
- Panel Discussion Medical Affairs and MSL
- Symposium I Regulatory Sciences
- Symposium II Education
- Workshop 1 Clinical Trials
- Workshop 2 Ethics in Medicines Development
- Workshop 3 Big Data in Medicines Development
- Workshop 4 Access to Medicine from Tier Pricing to Neglected Disease
- Workshop 5 Medical Safety
- Workshop 6 Good Publication Practice
- Workshop 7 Patient Centered Medicines Development (Round Table)
- Workshop 8 Best Practices in Pharmaceutical Medicine

2) 会議のテーマ

“The Future of Medicine Development”

3) 参加予定者数 300 名（国内 250 名、海外 50 名）

4) 会議使用言語：英語、日本語

1. 収支予算

収入	金額	支出	金額
I. 参加登録費	9,600,000	I. 会場借上費	3,409,200
II. 懇親会費	0	II. 印刷製本費	1,570,000
III. 主催団体補助金	0	III. 通信運搬費	709,000
IV. その他自己資金	0	IV. 旅費	430,000
V. 公的補助金・助成金	2,000,000	V. 宿泊費	288,000
VI. 展示/広告収入	3,250,000	VI. 雑役務費	320,000
VII. 共催事業収入	0	VII. 運営会社手数料	900,233
VIII. 寄付	3,000,000	VIII. 人件費	3,370,000
		IX. 消耗品費	3,946,767
		X. 飲食費	2,376,800
		XI. その他	530,000
合計	17,850,000	合計	17,850,000,

2. 収支予算積算内訳

収入内訳

費目名	内訳	金額(円)
参加登録費	40,000円×50名	2,000,000
	35,000円×100名	3,500,000
	25,000円×60名	1,500,000
	30,000円×80名	2,400,000
	20,000円×10名	200,000
公的補助金・助成金		2,000,000
展示/広告収入	展示ブース料 300,000円×10式	2,000,000
	広告掲載費 50,000円×5式	250,000
寄付	100,000円×30団体	3,000,000
合計	—	17,850,000

支出内訳

費目名	内訳	金額(円)
会場借上費	会場借料費(2017年9/26-9/29)	1,989,600
	事務局室料 10,000円×13ヶ月	130,000
	音響映像機材費(2017年9/26-9/29)	1,289,600

印刷製本費	チラシ 80 円×1000 部	80,000
	プログラム 1800 円×500 部	900,000
	ポスター 750 円×200 部	150,000
	封筒 角 2@400 円×200 枚、長 3@300 円 ×200 部	140,000
	会議資料	100,000
	ストラップ付きネームカード 400 円×500 個	200,000
通信運搬費	ウェブサイト作成	579,000
	国際電話・FAX・郵便	50,000
	プリンター・トランシーバー	80,000
旅費	海外招待者交通費 (1 名を想定)	150,000
	国内招待者交通費 (1 名を想定)	50,000
	役員用送迎バス 54,000 円×2 片道×2 日	216,000
	ディレクター交通費 2017 年 9/26-9/28	14,000
宿泊費	海外招待者宿泊	15,000
	国内招待者宿泊 15,000 円×3 泊×5 名	225,000
	ディレクター宿泊費 8,000 円×2 泊×3 名	48,000
雑役務費	広告趣意書作成・管理	60,000
	出展社趣意書作成・管理	120,000
	ビザ申請補助 (7,000 円×20 名)	140,000
運営会社手数料		900,233
人件費	事務局人件費	3,370,000
消耗品費	消耗品・備品購入費	3,946,767
飲食費	飲食・観光・アトラクション費用	2,376,800
その他	その他	530,000
合計	—	17,850,000

寄付金募集要項

- 1) 募金の名称
The 19th International Conference on Pharmaceutical Medicine (ICPM2018)
第9回日本製薬医学会年次大会
- 2) 募金目標金額
3,000,000 円(1口 10万円)
- 3) 募金の対象先
日本製薬団体連合会、医療・医薬関連企業、団体等
- 4) 募金期間
2017年11月1日(水)～2018年9月26日(水)
- 5) 寄付金の用途
The 19th International Conference on Pharmaceutical Medicine (ICPM2018)
第9回日本製薬医学会年次大会
開催の為に準備及び当日運営費用
- 6) 寄付金の払込方法
別紙寄付金申込書を運営事務局宛に(メールまたは FAX にて)お送りください。
寄付申込書を受領し確認次第、ご請求書を発行いたします。
ご請求書受領後、下記指定口座番号へお振込みください。

銀行名	:	三井住友銀行
支店名	:	国分寺支店(支店番号 836)
口座種別	:	普通預金
口座番号	:	2303197
口座名義	:	一般財団法人日本製薬医学会
フリガナ	:	イッパンザイダンホウジンニホンセイヤクイガクカイ
- 7) 貴社ウェブサイト等での公開に関して
製薬企業の活動における医療機関等との関係の透明性・信頼性向上のため、医療機関および医療関係者等に対する研究費、寄付、交流等の支出に関する情報を製薬企業が自社のウェブサイトで開催する場合、貴社が本会議に対して行う寄付金・共催費に関し、当該ウェブサイト等で公開することに同意します。

1. 本会議の問い合わせ先

The 19th International Conference on Pharmaceutical Medicine (ICPM2018)・
第9回日本製薬医学会年次大会運営事務局
【連絡先】
株式会社アイ・エス・エス内
〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MTビル 8階
TEL:03-6369-9984 FAX:03-3453-1180, E-mail:icpm2018@issjp.com

年 月 日

FAX:03-3453-1180

E-mail:icpm2018@issjp.com

The 19th International Conference on Pharmaceutical Medicine (ICPM2018) 運営事務局 宛

申込締切:平成30年(2018年)9月26日(木)

寄付申込書

The 19th International Conference on Pharmaceutical Medicine (ICPM2018)・

第9回日本製薬医学会年次大会

会長 今村 恭子・西馬 信一 殿

金

円也

The 19th International Conference on Pharmaceutical Medicine (ICPM2018)・第9回日本製薬医学会年次大会

開催の趣旨に賛同し、上記金額を寄付金として申し込みます。

貴社名 _____

ご担当者 _____

印 _____

ご担当部課名 _____

所在地 〒 _____

TEL _____

FAX _____

E-Mail _____

口座振込予定日: _____ 年 _____ 月 _____ 日

【お申込に関するお問合せ先】

The 19th International Conference on Pharmaceutical Medicine (ICPM2018)・第9回日本製薬医学会年次大会運営事務局

【連絡先】

株式会社アイ・エス・エス内

〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MTビル 8階

TEL:03-6369-9984 FAX:03-3453-1180,

E-mail:icpm2018@issjp.com